

2016年1月12日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、ブラジルのオンライン・オーディエンスデータ会社 「ナベッグ社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、中南米最大の広告市場であるブラジルにおけるデジタルサービスの強化・拡充のため、オンライン・オーディエンスデータ会社「Navegg」（本社：クリチバ市、正式社名はNVG Participações S.A.、以下「ナベッグ社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2009年に設立されたナベッグ社は、オンライン・オーディエンスデータを提供するデータ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）を管理・運営しています。その最大の強みは、媒体社や有力サイトとの強固な協力関係をもとに、毎月100億件を超えるオーディエンスデータの蓄積・分析を行っている点にあります。ブログ、ポータルサイト、価格比較サイト、Eコマースサイトをはじめ10万を超える内外のサイトと提携してブラジル最大規模のDMPを構築し、媒体社や企業によるマーケティング活動を支援しています。またナベッグ社は、これらのデータを分析・活用したCRM領域での戦略コンサルティングも行っています。顧客には、ブラジルの主要オンライン媒体社、運用型広告のプラットフォーム会社のほか、南米全域や米国の企業も含まれます。

これまで当社グループのブラジルにおける顧客向けサービスは、総合広告会社のNBS（2014年5月に買収）や電通ラテンアメリカ（電通ブラジル）、クリエイティブ・エージェンシーのmcgarrybowen（マクギャリーボウエン）、総合デジタルエージェンシーのLOV Interactive Communications（ラブ）、リダイレクト・デジタル・マーケティング（2015年7月に買収）、モバイルエージェンシーのポントモビ（2015年10月に買収）、OOHエージェンシーのOOHプラス（2014年12月に買収）、デジタル分野のグローバルネットワーク・ブランドであるIsobar（アイソバー）やiProspect（アイプロスペクト）などを通して行ってまいりました。

今回の買収施策の狙いは、ブラジルにおけるデジタルサービスのさらなる強化によって、競争力を高め、当社グループの成長戦略を加速させることにあります。

今後、ナベッグ社は、当社グループにおいて運用型広告のトレーディングデスクサービス機

能を担っている Amnet(アムネット)やグループ各社との連携を図ることで、ブラジルを含む南米でのシナジーの創出を図ってまいります。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーである Carat (カラ) が行っている世界の広告費成長率予測 (2015 年 9 月) によると、ブラジルの 2014 年のデジタル広告費は、前年比で 20.0%増でした。2015 年、2016 年も、それぞれ 10.0%増、9.0%増と高い成長が続くと予測しています。

なお、本件が当社の 2016 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

【ナベッグ社の概要】

社 名 : NVG Participações S.A. (ナベッグ社)
本社所在地 : ブラジル クリチバ市
設 立 : 2010 年 2 月 (現在の法人組織となった年月。設立は 2009 年)
株主構成 : 買収手続き完了後
電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 375 万リアル (約 1.1 億円) (2014 年 12 月期)
代 表 者 : Luciano Juvinski (CEO)
Pedro Cruz (Business Development Director)
Adriano Brandão (Commercial Director)
従業員数 : 18 名
事業内容 : オンライン・オーディエンスデータ領域全般のサービスを提供

以 上